

こんなことに配慮しましょう

高齢者にはゆっくり落ち着いた声で話しかけましょう。高い声や早口ではよく伝わりません。老人性難聴の場合、大きな声を出されるよりも、はっきりと発音された方が聞きとりやすいです。

また、膝などの関節に痛みを抱えている場合には、その人のペースに合わせて、ゆっくり移動しましょう。高齢であっても時間にゆとりがあればできることもたくさんあります。周囲が待つことは大切な支援です。困った状況にあって高齢者が戸惑っているときには、座って話を聞けるようにするとよいでしょう。

いずれにしても個人差が大きいので、高齢者それぞれが困っている状況をよく聞いて、何をどのように支援すればよいかを本人に確認しましょう。



操作手順が画面に示されていても、使い方が分からず、戸惑ってしまうことがあります。「どうされましたか」、「何かお困りですか」と声をかけてみましょう。

坂道や階段を上るときにちょっと荷物を持ってもらえるとても助かります。「そこまで荷物をお持ちしましょうか」などと手伝いを申し出てみましょう。



電車やバスの中で立っている高齢者を見かけたら、声をかけて席を譲りましょう。



音声コード

